

第3回 南知多町立学校建設検討委員会

日時：令和8年9月30日（水）午前10時～
会場：南知多町役場 大会議室

次第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

【報告事項】

1) 町民ワークショップの報告

資料1

2) 教職員アンケート速報報告

資料2

3) 総合体育館の共用検討について

資料3

4) 総合体育館の共用における整備方針

資料4

【協議事項】

0) グループワークの進め方説明

資料5・資料6

1) 施設面（ハード面）の課題

「体育館を学校体育で利用する場合、施設・設備面で
どのような課題や改善が必要か」

2) 運用面（ソフト面）の課題

「体育館を学校と地域が共用する場合、管理・運用面で
どのような課題や改善が必要か」

4 質疑応答

5 その他

1) 次回予定

第4回 令和8年11月30日 午前10時～
南知多町役場 大会議室

6 閉会

南知多町立学校新校舎
「みんなで考える 新しい学校づくり」ワークショップ報告書

1 開催日時

半 島 : 令和 8 年 8 月 2 5 日 (月) 午後 7 時から午後 9 時まで
日間賀島 : 令和 8 年 9 月 8 日 (火) 午後 7 時から午後 9 時まで
篠 島 : 令和 8 年 9 月 1 0 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時まで

2 開催場所

半 島 : 南知多町役場 大会議室
日間賀島 : 日間賀島公民館 集会室
篠 島 : 篠島開発総合センター 集会室

3 参加対象

町民

4 募集方法

LINE、町ホームページ、回覧板

5 実施目的

南知多町では、未来を担う子どもたちのため、新しい学校の建設に向けた検討を進めている。新しい南知多中学校の基本構想及び基本計画を策定するにあたり、地域のみなさまの意見を反映するため、ワークショップを開催した。

6 開催概要

【プログラム】

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 小学校機能を複合した南知多町立学校新校舎建設について
- (3) グループワーク

テーマ①：新校舎の建設方式について
「小学校・中学校を『同一棟』とする場合に期待すること・懸念すること」

テーマ②：学校施設の地域解放について
「学校施設が地域に開放されたら、どのように利用したいですか。」

- (4) グループ発表
- (5) 質疑応答
- (6) 閉会のあいさつ

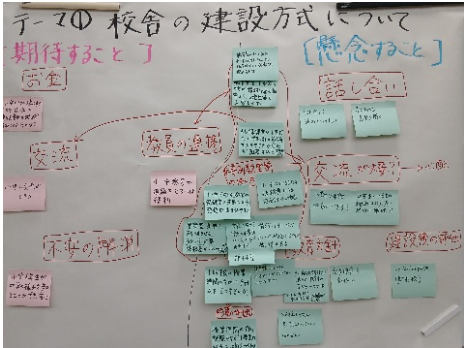
7 参加者

半 島 : 4 名 (1 グループ)
日間賀島 : 1 1 名 (うち教員 4 名) (3 グループ)
篠 島 : 1 5 名 (うち教員 4 名) (3 グループ)

ワークショップの様子

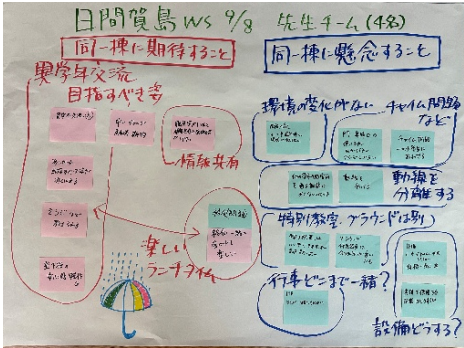
【半島】

職員室や保健室を 1 室にした場合の小中学生の利用のしやすさ、体格差による施設設備のサイズ問題など、特別教室の使い方について多くの意見が出た。また、学校施設をこれまでの体育館のように町民が利用できるのか、地域開放の仕組みづくりが課題となる話し合いとなった。



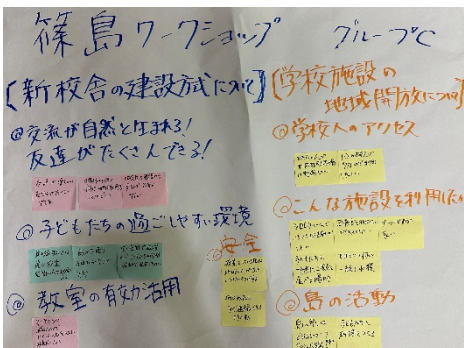
【日間賀島】

日間賀島の教員の参加もあり、チャイムの時間の違い、昇降口の使い方、小中学生の施設内動線、行事の合同開催など、日々の学校生活についての意見が出た。また、学校施設を地域開放する場合は、町民も使いやすいような交通手段があると良いという意見もあった。



【篠島】

島の学校での独自の学びや経験、島ならではの祭りはどのように残し、向き合っていくかの意見が出た。また、島民からは図書館、プール等の施設を利用したいという声が多くあったが、児童生徒の授業利用での安全面を優先させたい思いも意見に表れていた。



ワークショップの意見まとめ

	テーマ①：新校舎の建設方式について
期待すること	小中学生の交流・成長 ・小中学生の交流や異学年交流の機会が増える。 ・中学生が小学生の手本となり、面倒を見るなど、互いに成長できる。 ・合同行事や合同授業など、小中が連携した活動を行いやすい。 ・小学生が中学生の姿を身近に見ることで、進学後のイメージを持ちやすい。 ・中学校進学への不安や「中１ギャップ」の軽減が期待できる。 教員の連携・教育の充実 ・小中の教員が情報共有や連携をしやすくなる。 ・児童生徒の情報を継続的に共有し、丁寧な指導につなげられる。 ・小中をまたいだ授業や、教員の専門性を生かした授業が行いやすい。 安心して進学・生活できる環境 ・小学校段階から中学校の様子を知ることができ、安心感につながる。 ・顔見知りの児童生徒が多いことで安心して学校生活を送れる。 ・兄弟姉妹が同じ学校に通うことで、保護者も見守りやすい。 施設・設備の効率的な活用 ・特別教室や設備などを共用することで、効率的に利用できる。 ・空き教室等を少人数授業やクールダウンの場など柔軟に活用できる。 ・最新の ICT 設備など、充実した教育環境の整備。 整備・維持管理の効率化 ・小中を一体的に整備することで、建設費の削減が期待できる。 ・設備を共用することで、無駄の少ない施設とすることができる。

キーワード

○交流・成長

→異学年交流／小中交流／合同行事／合同授業／中学生が小学生の手本／一緒に成長

○進学・安心

→中１ギャップ軽減／中学校生活が見える／顔見知りで安心／進学イメージ

○教育・教員連携

→教員連携／情報共有／小中をまたいだ授業／専門性を生かした授業

○施設活用・効率化

→特別教室の共用／空き教室の活用／ICT／施設の有効活用／コスト削減

懸念すること	体格・年齢差への対応 ・小学生と中学生の体格差による安全面が心配。 ・机・椅子、理科室、体育器具、階段、トイレなど、小中で同じ設備を使用することへの懸念。 ・学年や年齢差を踏まえ、それぞれが過ごしやすい環境とする必要がある。 施設・設備の共用方法 ・特別教室、保健室、体育館、グラウンドなどを小中で共用できるのか懸念がある。 ・特別教室等は小中それぞれに設けた方がよい。 ・共用する場合、利用時間や予約、時間割の調整が複雑になる可能性がある。 ・部活動や地域利用との利用時間の重複も懸念される。 動線・生活空間の混在 ・小学生と中学生の動線を適切に分ける必要がある。 ・他学年の教室前を通るなど、学習環境が落ち着かなくなることが懸念される。 ・共用空間と小中それぞれの生活空間をどのようにゾーニングするか検討が必要。 ・一般利用者と児童生徒の動線が交差しないよう、安全面への配慮が必要。 学校生活・運営上の違い ・小学校と中学校では授業時間やチャイム、試験期間などが異なる。 ・中学校の試験や受験時に、小学生の活動が制限されることが懸念される。 ・行事をどこまで合同で行うのか整理が必要。 ・時間割編成や施設利用調整が複雑になることが心配される。 児童生徒の人間関係 ・小中学生間のトラブルやいじめ、上下関係が生じることへの懸念がある。 ・常に同じ人間関係が続くことで、関係が悪くなった場合に逃げ場なくなることが心配。 ・交流を増やす一方で、適切な距離を保てる環境も必要。 教育方針・学校運営 ・小中一貫校や義務教育学校、目指す学校のあり方や教育理念によって必要な施設構成が異なる。 ・職員室や保健室を一つにすることへの懸念がある。 ・子どもの意見も聞きながら検討してほしいという意見がある。
--------	--

○体格差・安全

→体格差／家具・設備のサイズ／階段・トイレ／体育器具／安全性

○施設共用

→特別教室／保健室／体育館／グラウンド／利用予約・調整

○学校運営

→時間割／チャイム／試験・受験／行事／職員室

○空間・動線

→動線分離／ゾーニング／生活空間／共用空間／音・物音

○人間関係

→上下関係／トラブル／いじめ／距離感／人間関係の固定化

	テーマ②：学校施設の地域開放について
活用したいこと	図書館・学習環境の開放 ・図書館を地域住民にも利用できるようにしてほしい。 ・学習室や勉強できる場所、学童など、子どもの学びの場として活用したい。 ・児童生徒が利用していない時間帯に地域開放するなど、学校利用との両立が必要。 ・司書など、施設を管理・運営する人員の配置も必要。 体育・運動施設の地域利用 ・体育館、グラウンド、プールなどを地域でも利用したい。 ・スイミングスクールや地域クラブ、習い事などへの活用も考えられる。 ・一方で、学校行事や部活動、既存の地域利用が制限されないかという懸念がある。 ・学校利用と地域利用の時間や利用ルールを整理する必要がある。 交流・地域活動の場 ・小中学生と地域住民が交流できる場所として活用したい。 ・多目的室、会議室、料理教室などを地域活動に利用したい。 ・地域の祭りやイベント、子どもと地域住民が一緒に行う活動の場として活用したい。 ・畑や花壇、飼育などを地域と連携して行うことも考えられる。 子どもの居場所・多目的利用 ・雨の日にも子どもが遊べる場所がほしい。 ・プログラミング、AI、料理など、学校外でも学べる機会がほしい。 ・多目的ルームや遊べる広場など、多様な活動に対応できる空間が求められる。 ・売店・喫茶やシャワー等、地域利用を支える機能を求める意見もある。 安全・セキュリティ ・地域利用者が学校の教育エリアへ入らないよう、動線や出入口を分ける必要がある。 ・授業中は地域利用者が児童生徒の生活空間へ立ち入らないようにする必要がある。 ・地域利用部分を別棟や独立したエリアとすることを求める意見もある。 ・鍵の管理や緊急時の連絡体制など、運用面の仕組みづくりが必要。 アクセス・交通 ・地域の人が利用しやすい駐車場を整備してほしい。 ・バスや船など公共交通の利便性を高めてほしい。 ・特に島からの利用については、船代や運行本数への配慮を求める意見がある。

活用したいこと

○図書館・学び

→図書館開放／学習室／勉強できる環境／学童／学校以外での学び

○体育・運動

→体育館／グラウンド／プール／地域クラブ／スイミング・習い事

○交流・地域活動

→多目的ルーム／会議室／料理教室／地域イベント・祭り／子どもと地域の交流

○子どもの居場所

→雨の日の遊び場／遊べる広場／見守り／送迎／放課後の居場所

○多様な活動

→プログラミング／AI 教室／花壇・飼育／畑・収穫／飲食・交流

○アクセス・利便性

→駐車場／バス／船／船代負担軽減／交通の利便性／周知

大切にしたいこと・懸念

○安全・セキュリティ

→出入口の分離／動線分離／授業中の立入制限／防犯／緊急時対応

○学校利用との両立

→学校行事／部活動／体育館利用／グラウンド利用／地域利用との重複

○管理・運営

→鍵管理／司書・管理人員／利用ルール／管理負担／施設管理

○開放時間・利用条件

→休日開放／夜間利用／児童生徒がいない時間／利用時間の整理／開放範囲

○空間・ゾーニング

→校舎と開放エリアの分離／独立した空間／別棟化／共用・専用の整理／地域利用者の動線

○既存利用への影響

→総合体育館利用への影響／自由利用の確保／学校利用優先／地域活動の継続

※「学校施設が地域に開放されたらどのように活用したいか」をテーマに意見交換を行いました。
意見交換の中では、活用方法に加え、地域開放にあたって大切にしたいことについても意見が挙げられたため、併せて整理しています。

総合体育館の共用可能性検討

1. 体育館の施設条件の整理

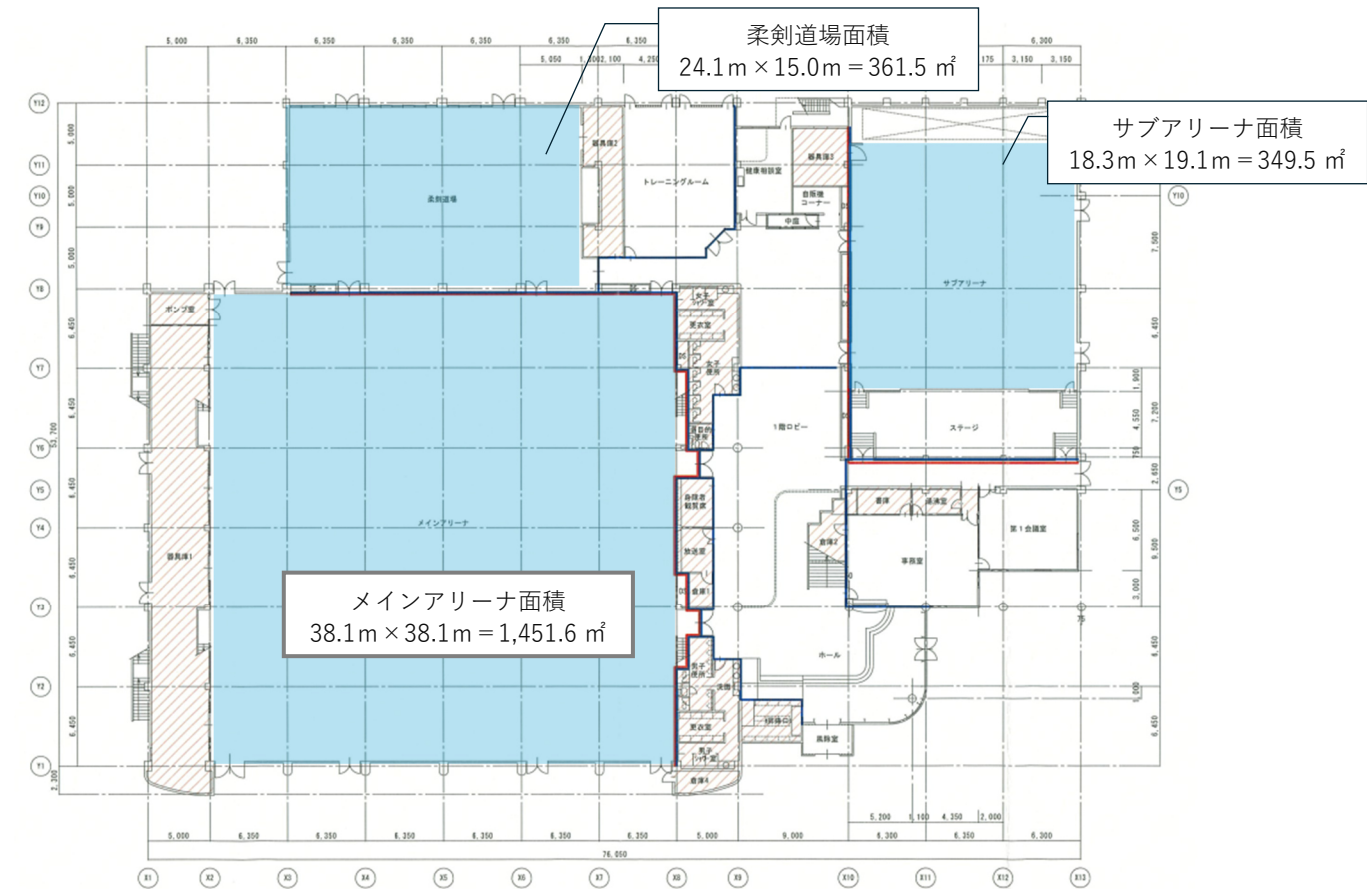
総合体育館を学校体育と町民利用で共用することが可能か検証するため、現在の総合体育館、南知多中学校体育館及び豊浜小学校体育館について、アリーナ面積や天井高さ、競技種目ごとの利用条件等の施設条件を整理します。

施設	諸室	面積	天井高さ	現在実施競技
総合体育館	メインアリーナ	1,451.6 m ²	16.5m	バスケ、バレー
	サブアリーナ	349.5 m ²	9.4m	バドミントン
	柔剣道場	361.5 m ²	4.3m	
	会議室	164.6 m ²	2.8m	
	ランニングコース			
南知多中学校体育館	アリーナ	691.2 m ²	10.8m	バスケ、バレー、バドミントン
	柔剣道場/卓球場	345.6 m ²	4.0m	
豊浜小学校体育館	アリーナ	500.0 m ²	8.5m	ミニバス、バレー、バドミントン

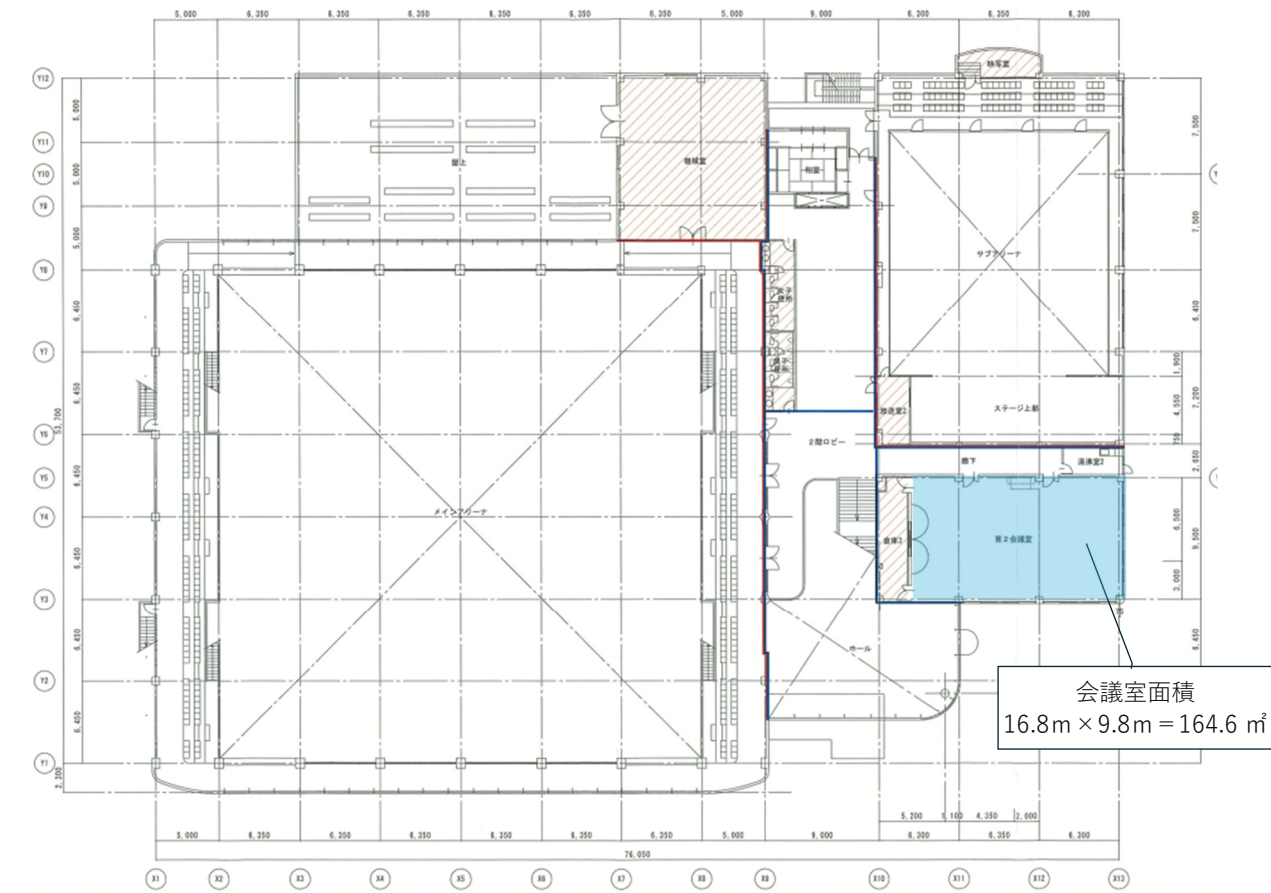
※図面に寸法等の記載がない項目は、既存図面を基に図上計測・補正した概算値であり、実測値ではありません。

2. 施設条件からみた共用可能性

総合体育館は、南知多中学校及び豊浜小学校の体育館と比較して、アリーナ面積、天井高さともに大きく上回っています。このことから、施設規模の面では、現在各学校体育館で行われている体育活動に対応することが可能であり、学校体育と町民利用による**共用が可能な施設条件を有している**と考えられます。



総合体育館 1階平面図



総合体育館 2階平面図

3. 体育館の利用実態の整理

総合体育館を学校体育と地域利用で共用する場合の利用状況を把握するため、総合体育館の利用実績に加え、南知多中学校及び豊浜小学校の体育カリキュラム（令和8年度）等をもとに、各体育館の利用状況を整理します。

【総合体育館】

メインアリーナ

	月		火		水		木		金		土		日	
	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面
8	休館日													
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														

【南知多中学校】体育館

	月	火	水	木	金	土	日
8							
9	1限						
10	2限						
11	3限						
12	4限						
13	給食 昼休						
14	5限						
15	6限						
16	部活	部活動	部活動	部活動			
17							
18							
19							
20							
21							

【豊浜小学校】体育館

	月	火	水	木	金	土	日
8							
9	1限						
10	2限						
11	3限						
12	4限						
13	給食 昼休						
14	5限						
15	6限						
16	部活						
17							
18							
19							
20							
21							

4. 施設条件および利用実態からみた共用可能性

(1) 共用可能性の検証方法

前項の施設条件の比較から、総合体育館はアリーナ面積や天井高さ等について、現在の南知多中学校および豊浜小学校で行われている体育活動に対応可能な施設条件を有していると考えられます。

また、児童生徒数・学級規模から、**通常の体育授業はメインアリーナの1/2面程度で実施可能**と想定します。このため、総合体育館、南知多中学校及び豊浜小学校の現在の利用状況を曜日・時間帯・利用場所ごとに重ね合わせ、学校体育を総合体育館で実施した場合の利用の重複状況を確認します。

【検証上の前提】

- ・本検証では、**学校体育を総合体育館で実施する場合を想定し、現在の学校体育と総合体育館の利用状況を重ね合わせて共用可能性を確認する。**
- ・南知多中学校及び豊浜小学校の体育館における地域利用については、**町内の体育施設全体の配置や利用状況とあわせて考える必要があるため、本資料では総合体育館への集約は想定しない。**

(2) 利用実態の重ね合わせ

総合体育館の現在の利用状況と、南知多中学校・豊浜小学校の学校体育の利用状況を重ね合わせ、時間帯や利用場所の重複状況から共用の可能性を確認します。

【総合体育館】メインアリーナ

	月		火		水		木		金		土		日	
	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面	1/2面
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														

【サブアリーナ】

	月	火	水	木	金	土	日
8							
9							
10							
11		体操			体操		
12							
13							
14		社交ダンス	体操	社交ダンス			
15							
16							
17							
18							
19		バドミントン					
20							
21							

武道場

	月	火	水	木	金	土	日
8							
9							
10				ふくし課			
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							

【凡例】

	=南知多中学校 体育授業
	=豊浜小学校 体育授業
	=南知多中学校 部活動
	=豊浜小学校 部活動
	=地域利用 定期
	=地域利用 不定期

5. 共用可能性のまとめ

- メインアリーナ
通常の体育授業は1/2面程度で実施可能と想定され、平日日中の定期的な地域利用も少ないことから、**学校体育の主な利用場所**として活用可能と考えられます。
ランニングコースは盗撮等トラブルの観点から学校利用時には使用の制限を検討します。
- サブアリーナ
平日日中の地域利用が多いことから、現在の地域利用をできる限り継続することを基本とし、式典等の学校行事と重複する場合は、利用日の調整や**一時的な利用制限**を行うことを想定します。
- 柔剣道場
平日日中の地域利用と学校体育が重複する場合がありますが、**定期利用は週1日の午前中など限定的**であることから、**体育カリキュラムや利用時間を調整**することで共用可能と考えられます。
- 学校体育の運用
体育カリキュラム上の授業時間は、常に体育館を使用するものではなく、運動場等を使用する授業もあります。
そのため、**時間割や利用場所を調整し、空き時間は地域利用に活用できる運用**を想定します。
- 地域クラブ活動の利用調整
地域クラブ活動については、現在の総合体育館・南知多中学校に加え、豊浜小学校を含む**複数の体育施設を活用して利用調整を行う**ことを想定します。
これにより、**現在と同程度の地域利用時間の確保**を図ります。
- 総合的な判断
メインアリーナを**学校体育の中心**として活用しつつ、体育カリキュラムや利用時間の調整により、**空き時間は地域利用を継続**できると考えられます。
また、**サブアリーナは現在の地域利用を基本的に維持し、柔剣道場は学校体育との重複時に利用時間を調整**することで、学校体育と地域利用の共用は可能と考えられます。

総合体育館の共用における基本方針

1. 新校舎建設の基本方針（第2回建設検討委員会 資料-1掲載）

- ・将来、小学校の統合が必要となる場合に備えるため、中学校新校舎建設に合わせて、同じ敷地内に小学校の普通教室を建設し、特別教室などは小中学校で兼用できる校舎を計画とする。
- ・小学校機能、公民館機能、図書館機能、および総合体育館機能を複合した南知多中学校新校舎を建設する。

※第1回検討委員会や令和8年度公共施設再配置計画ロードマップの内容を参照

2. これまでの検討における主な視点

これまでの検討では、新しい校舎の整備や地域開放について、事前アンケート及びグループワークを通じて、以下のような視点が挙げられています。

1）事前アンケートで挙げられた4つの視点

- ①学習・生活環境の独立性に関する懸念
- ②施設・設備の適正化に関する懸念
- ③段階的整備・将来の不確実性への懸念
- ④コスト・敷地利用に関する課題

2）第2回グループワークで挙げられた体育館共用に向けた主な視点

- ・子どもの安全・安心・セキュリティの確保
- ・学校エリアと地域利用エリアの区分、動線の整理
- ・学校利用を優先しつつ、地域利用との時間・利用方法を調整すること
- ・学校教育への影響を抑えながら、総合体育館を地域スポーツの拠点として活用すること

3）町民ワークショップで挙げられた体育館共用に向けた主な視点

- ・子どもの安全・安心・セキュリティを確保すること
- ・学校利用と地域利用の利用範囲・利用時間を適切に調整すること
- ・地域利用時のルールや管理方法を整理し、地域スポーツの場として活用すること

3. 総合体育館の共用に向けた基本的な考え方

主な視点を踏まえ、総合体育館の共用に向けて、以下の4つを基本的な考え方とします。

①学校教育と地域利用の両立

学校体育・部活動等の教育活動を優先しつつ、現在の地域利用をできる限り継続できる利用環境を確保する

②安全・安心な利用環境の確保

児童生徒と地域利用者の出入口・動線・利用範囲を整理し、セキュリティを確保する

③利用しやすく柔軟な施設・運用

学校と地域双方が利用しやすく、将来の利用状況の変化にも対応できる施設・運用とする

④施設の有効活用と持続可能な管理運営

既存の総合体育館を有効活用し、効率的かつ継続的に共用できる管理・運営体制を構築する

4. 共用に向けた具体的な基本方針

これまでの検討で挙げられた視点や、総合体育館の施設条件・利用実態を踏まえ、学校と地域で共用するために必要となる施設面（ハード面）及び管理・運用面（ソフト面）の基本方針を以下のとおり整理します。

なお、出入口の構成やセキュリティ区画、具体的な管理・運用方法等については、今後の検討の中で具体化していきます。

○施設面（ハード面）

①出入口・動線

- ・学校から体育館への動線と、地域利用者のアプローチを整理する
- ・利用時間や利用状況を踏まえ、出入口の分離・共用方法を検討する

②ゾーニング・セキュリティ

- ・学校利用エリアと地域利用エリアを明確にする
- ・扉や施錠等により、利用時間に応じて立入り範囲を制限できる構成とする

③アリーナ・諸室の利用

- ・アリーナの全面・分割利用や、サブアリーナ・諸室の活用を検討する
- ・学校体育と地域利用ができる限り両立できる施設利用を目指す

④更衣・収納等の付帯機能

- ・更衣室、トイレ、器具庫等について、学校・地域双方の利用を想定する
- ・共用・区分の方法や必要な規模・配置を整理する

○管理・運用面（ソフト面）

①利用時間・優先順位

- ・授業・学校行事等の学校利用を基本として利用時間を整理する
- ・部活動、地域利用、大会等を含め、利用の優先順位や調整方法を定める

②予約・受付・入退館

- ・地域利用の予約・受付、開錠・施錠、利用者確認等の方法を整理する
- ・学校側の管理負担を抑えられる仕組みを検討する

③管理・運営体制

- ・学校、町、施設管理者等の役割を整理する
- ・学校利用時・地域利用時それぞれの管理責任を明確にする

④清掃・器具・設備管理

- ・清掃、片付け、器具・設備の管理方法を整理する
- ・学校と地域の役割分担や利用ルールを明確にする

第3回南知多町立建設検討委員会
グループワークについて

第3回検討委員会では、これまでの検討を踏まえ、**総合体育館を学校と地域で共用**する場合に必要な施設・設備面（ハード面）と、管理・運用面（ソフト面）の課題や改善について、グループワークを行います。

今回のグループワークでいただいたご意見は、今後、総合体育館の共用に向けた施設整備や管理・運用の考え方を整理する際の参考とします。

当日の議論を円滑に進めるため、事前に配布した総合体育館の共用検討や整備方針、参考事例等をご確認いただき、本シートにご意見をご記入のうえ、当日ご持参くださいますようお願いいたします。

テーマ① 施設面（ハード面）の課題	
「体育館を学校体育で利用する場合、施設・設備面でどのような課題や改善が必要か」	
目的	学校体育と町民利用の共用を想定した場合に必要な施設・設備面の課題や改善点を整理し、今後の総合体育館の整備方針に反映します。
課題	
改善点	
その他	

テーマ② 運用面（ソフト面）の課題	
「体育館を学校と地域が共用する場合、管理・運用面でどのような課題や改善が必要か」	
目的	学校と町民が円滑に共用するために必要となる管理・運用面の課題や改善点を整理し、今後の利用方法や運用ルールの検討に反映します。
課題	
改善点	
その他	

当日は、前回同様、ご記入いただいた内容をもとにグループで意見交換を行い、その内容を全体で共有します。

今回いただいたご意見は、総合体育館を学校と地域で共用する場合に必要な施設・設備面の整備や、管理・運用方法を検討する上での参考とし、今後の基本構想・基本計画の検討に反映していきます。ご協力をお願いいたします。また、委員会終了後、本紙は回収させていただきます。

事例1：高浜小学校・高浜市地域交流施設「たかぴあ」【愛知県高浜市】

施設面（ハード面）

1. 施設概要・整備コンセプト

○施設概要

高浜小学校の建替えにあわせ、**学校・体育・地域交流・子育て等の機能を一体的に整備した複合施設**。

高浜小学校、地域交流施設「たかぴあ」、児童センター、介護予防拠点施設等で構成されています。

○整備コンセプト

- ・ **まちづくりの拠点**：小学校区を単位とした地域活動の拠点
- ・ **地域の交流拠点**：子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、交流する場
- ・ **避難所の確保**：災害時に一定期間滞在できる地域の防災拠点

2. 体育施設の概要

項目	メインアリーナ	サブアリーナ
位置づけ	高浜小学校の 学校体育館	地域 交流施設の体育施設
面積	900 m ²	672 m ²
天井高		12.8m
主な利用	学校体育、学校行事等	地域スポーツ、レクリエーション等
地域利用	学校利用時間外 に開放	地域利用を基本
利用時間	原則 平日 17:00～22:00 学校休業日 9:00～22:00	9:00～22:00
主な設備	ステージ 250 m ² 移動観覧席 300 席	バドミントン3面相当 更衣室 シャワー室

○バリアフリー面の工夫・特徴

- ・ 出入口からアリーナまで、段差のない移動経路を確保
- ・ 多目的トイレを整備し、オストメイト対応や手すり付き便器等を設置
- ・ 障がい者用駐車区画を確保
- ・ 更衣室・シャワー等を含め、幅広い利用者が地域体育施設を利用しやすい環境を整備

○特徴

- ・ 学校体育館であるメインアリーナと、地域利用を中心とするサブアリーナを併設
- ・ 2つのアリーナを活用し、学校利用と地域利用の双方に対応

3. 出入口・動線計画

- ・ 児童出入口と、地域交流施設・児童センター利用者の**出入口を分離**
- ・ 児童、学校来客、地域利用者、自動車等の利用動線を整理
- ・ **学校利用と地域利用の動線が交錯しにくい構成**とし、安全性・管理性を確保

管理・運用面（ソフト面）

4. 管理・運営体制

- ・ 地域利用の申請・受付・利用案内を、**交流施設内の事務管理室に集約**
- ・ 学校開放施設についても地域交流施設側を窓口として運用
- ・ 地域利用の管理を学校側だけで担わないことで、**教職員の負担軽減に配慮**

5. 予約・利用調整

- ・ **学校利用を優先**し、利用可能な時間帯を地域開放
- ・ **公共施設予約システム**により、空き状況の確認・予約が可能。事前予約後に**地域利用を調整**

6. その他の地域開放

- ・ 音楽室・図工室・家庭科室・多目的室等も、**学校利用に支障のない時間帯に地域開放**
- ・ 体育施設に限らず、学校施設の一部を地域活動・文化活動に活用

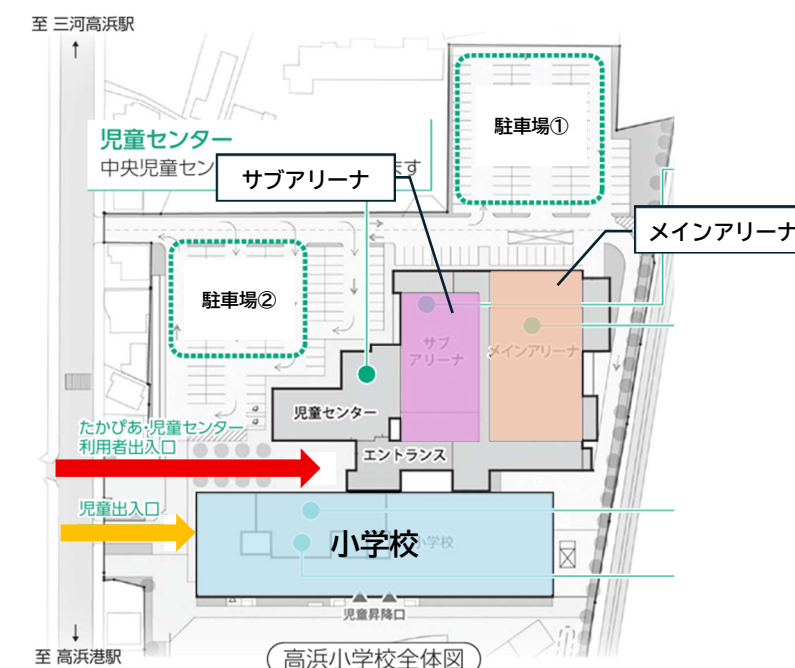
7. 共用に向けた工夫・特徴

○施設面（ハード面）

- ・ 学校体育館（メインアリーナ）と地域体育施設（サブアリーナ）を隣接して整備
- ・ 児童と地域利用者の出入口を分け、利用動線を整理
- ・ 学校と地域交流施設を一体的に整備しつつ、学校側・地域側の利用範囲を分けやすい施設構成

○管理・運用面（ソフト面）

- ・ メインアリーナは学校利用を優先し、学校利用時間外に地域開放
- ・ 地域利用の受付・予約窓口を地域交流施設側に集約
- ・ 学校施設の地域利用を事前予約・利用調整により運用



交流施設外観



メインアリーナ

事例2：かほく市立宇ノ気中学校・かほく市宇ノ気体育館【石川県かほく市】

ハード面

1. 施設概要

○施設概要

宇ノ気中学校の改築にあわせ、**学校敷地内に市立の宇ノ気体育館を併設して整備**。学校専用体育館は**設けず**、**市立体育館を学校体育・部活動と地域スポーツで共用する構成**としています。

また、当時の宇ノ気地区には競技用バスケットボールコート2面を確保できる体育館がなかったことから、中学校改築にあわせて社会体育施設として整備されました。

2. 体育施設の概要

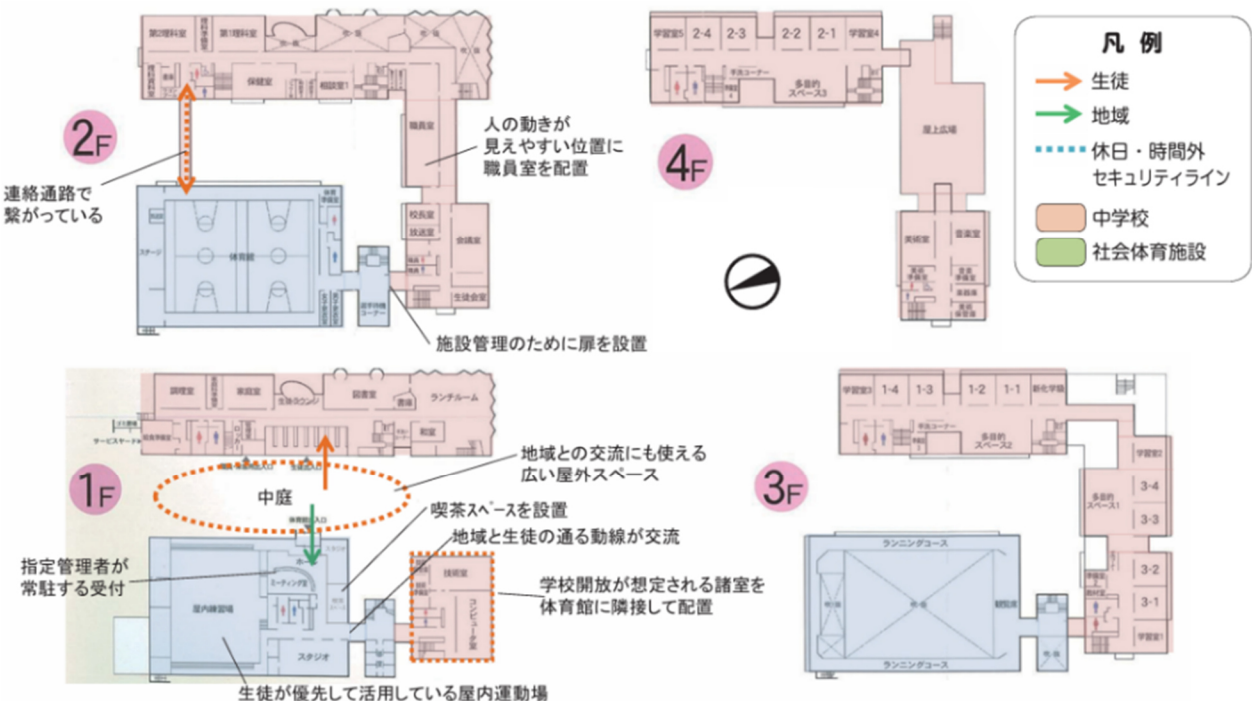
項目	宇ノ気体育館
位置づけ	かほく市の体育施設として整備し、中学校体育・部活動にも活用
延床面積	4,488 m ²
アリーナ面積	1,353 m ²
主な利用	学校体育、部活動、地域スポーツ
利用時間	9:00～22:00 (学校活動優先)
主な設備	室内練習場、スタジオ、 ランニングコース 観覧席 132 席 喫茶スペース

○特徴

- ・中学校の授業・部活動を優先しながら地域スポーツや大会等にも利用
- ・指定管理者の**本部事務局が体育館内に入居**

3. 出入口・動線計画

- ・中学校と体育館を複合・接続して整備し、**生徒が学校側から体育館へ移動できる構成**
- ・**学校側と地域側にそれぞれ出入口**を設け、学校利用者と地域利用者の動線を整理
- ・学校と体育館の**接続部を管理することで、地域利用時の学校側への立入りを制御**



ソフト面

4. 管理・運営体制

- ・NP0 法人クラブパレットが指定管理者として体育館1階に入居し、利用受付等に対応し管理・運営を行う
- ・**学校施設は教育委員会、体育館は指定管理者が管理し**、学校と地域利用の役割を分担

5. 予約・利用調整

- ・体育館は学校活動を優先しながら、**学校利用以外の時間帯を地域利用**
- ・空き状況を確認後、電話で仮予約し、体育施設利用許可申請書の提出により予約受付
- ・**オンラインでは予約状況の確認が可能だが、ネット予約には対応していない**

6. その他の地域利用

- ・体育室のほか、室内練習場・スタジオを地域利用
- ・**指定管理者によるフィットネス・ダンス等のスポーツプログラムを実施**
- ・学校利用だけでなく、地域スポーツ、大会、スポーツスクール等に幅広く活用

7. 共用に向けた工夫・特徴

○ハード面

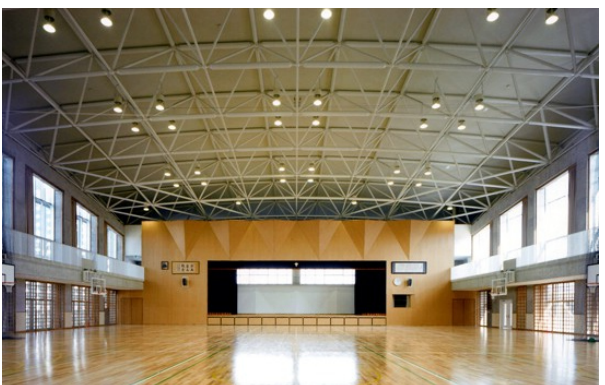
- ・市の体育施設を中学校と複合・接続し、学校体育と地域スポーツで共用
- ・学校側・地域側の出入口と利用動線を分け、利用者の領域を整理
- ・体育室に加え、室内練習場・スタジオ等を整備し、多様な活動に対応

○ソフト面

- ・学校活動を優先しながら、学校利用以外の時間帯を地域利用
- ・指定管理者が体育館内に常駐し、受付・施設管理を担当
- ・指定管理者によるスポーツ教室等を展開し、学校利用以外の時間も施設を有効活用



施設外観



体育館